BOSE®

OWNER'S MANUAL

PAM-5

パワード・アクースティマス®・スピーカーシステム

この度は、パワード・アクースティマス・スピーカーシステムPAM-5をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本機を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるよう、保管しておいてください。

特長

●画期的な2ウェイ・パワード・スピーカーシステム

PAM-5は、2個のサテライト・スピーカーと低域を受け持つ一台のアクースティマス・ベースボックスにパワーアンプを内蔵した、これまでにないタイプのスピーカーシステムです。

アクースティマス・ベースボックスは、音源の方位を感じさせない設計なので、部屋のどこにでもセッティングが可能。迫力ある重低音があたかも小さなサテライト・スピーカーから聞こえるような、自然なつながりを実現した画期的なスピーカーシステムです。

●独自の理論に基づくベースボックス

アクースティマス・ベースボックスは、その名が示すとおり独自の重低音再生技術「アクースティマス方式」の採用で、次のような利点があります。

①低域のエネルギーを効率よく再生

②特殊構造のエンクロージャーで高調波歪を外部に放出しない

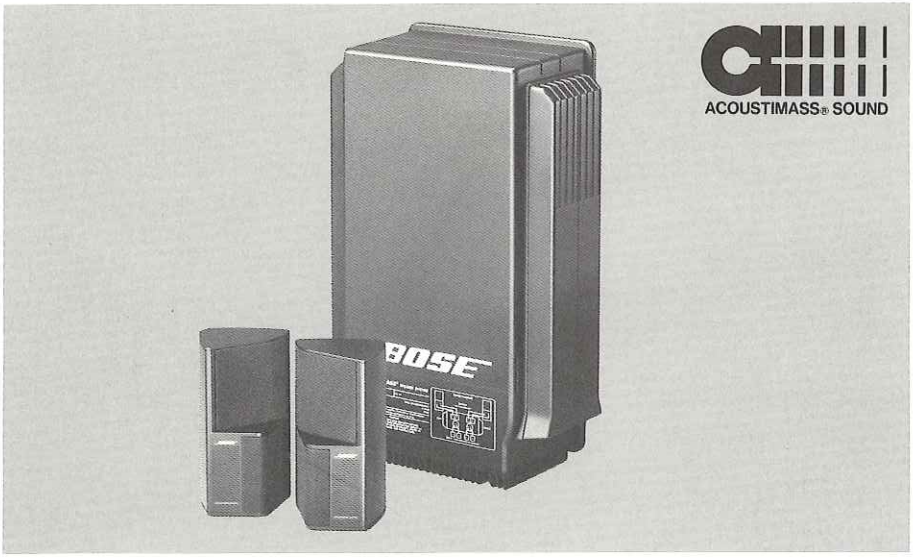
③コーン紙の動きが少ないため、非直線歪や混変調歪が最小限に抑えられる

●新デザインのサテライト・スピーカー

サテライト・スピーカーは曲面を取り入れたニューデザイン。一つのキャビネットに5.7cmドライバーが2個、各々角度を付けてマウントされています。また室内での均等な音場設定を可能にする「ステレオ・エブリウェア」と呼ばれるテクノロジーに基づき、独自の『ステレオ・ターゲティング・アレイ方式』を導入。コンピューター解析によって割り出された角度をユニットに持たせることで、間接音と直接音の相乗効果で広いリスニングエリアを生み出します。

●低磁束漏洩でAVシステムに対応

すべてのユニットにはキャンセリングマグネット方式を採用。ビデオモニターやカラーテレビへの影響はありません。



接続での注意

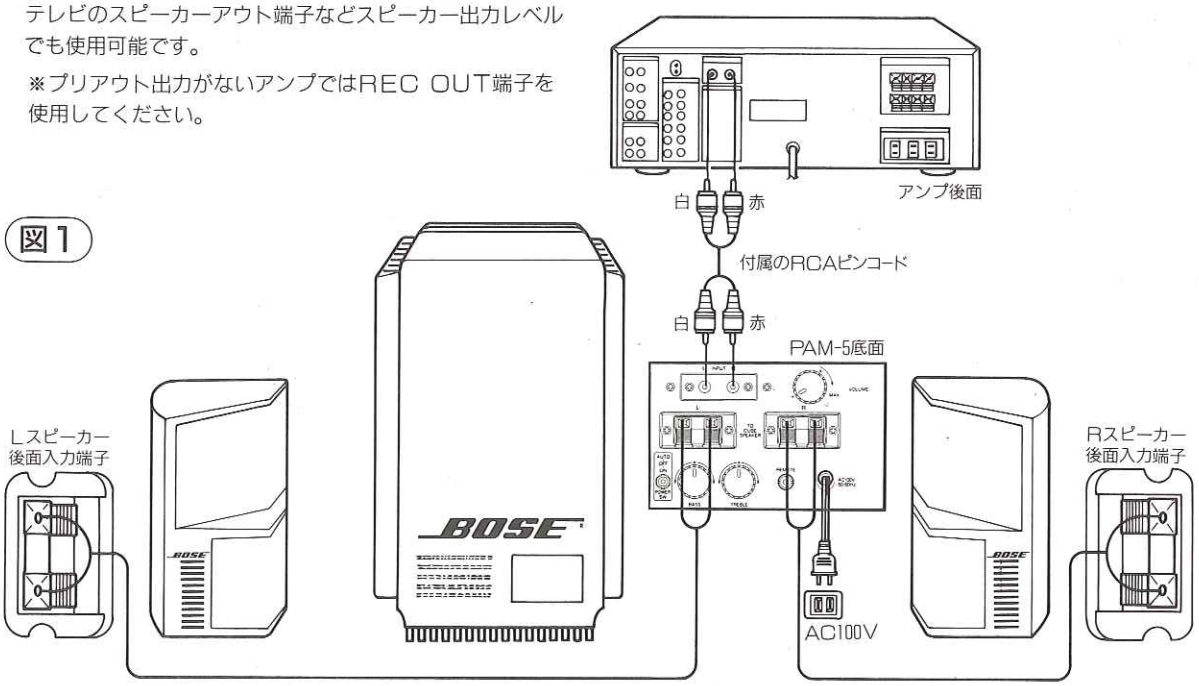
●接続する際は、必ずプリアンプと本機の電源をOFFにしてください。
●ベースボックスにはサテライト以外のスピーカーシステムを接続しないでください。アンプやスピーカーの故障の原因になります。
●⊕、⊖のコードが接触していないかを確認してください。ショートしている状態での使用は故障の原因となります。
●スピーカーコードの極性(⊕、⊖)およびRCAピンコードのL(白)、R(赤)をまちがえないように注意してください。
●RCAピンコードやスピーカーコードは、各端子にしっかりと差し込んでください。不完全な接続は雑音や故障の原因となります。
●サテライトスピーカーは、Lチャンネル(左側)用とRチャンネル(右側)用のスピーカーの区別があり、接続や設置する際は必ずL・Rを確認してください。(図1参照)

接続方法

■PAM-5は原則としてアンプのプリアウト出力端子と接続します(図1参照)。また、付属の変換アダプターを使えばラジカセやポータブルCDプレーヤーのヘッドホン端子も使用できます(図2参照)。さらに、インピーダンスに余裕を持たせているので、テレビのスピーカーアウト端子などスピーカー出力レベルでも使用可能です。

※プリアウト出力がないアンプではREC OUT端子を使用してください。

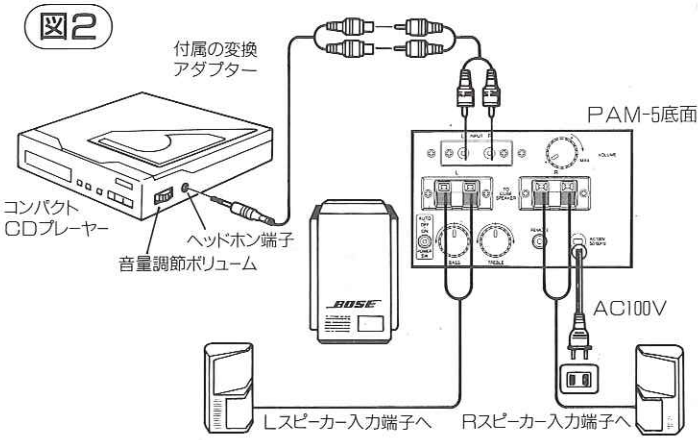
図1



■本機にはボリューム、トーンコントロール(BASS、TREBLE)が付いているので、音量および音質を自由にコントロールできます。使用状態や部屋の音響特性に合わせて調整してください。

※最初に本機を歪まない程度の音量に設定し、後は接続機器側で全体の音量操作を行うようにしてください。特に、テレビのスピーカーアウトなどの小出力端子に接続する場合は、接続機器側での出力(PAM-5への入力)信号がクリップしないよう(過大出力で歪まないよう)に注意してください。

図2



「ILSOLE(イルソーレ)」としての接続

■当社のトータルサウンドシステム「ILSOLE」としてLSミュージックコントローラー(LS-4810)と接続して使用する場合

①付属のスピーカーコードを使って、アクースティマス・ベースボックスとサテライト・スピーカーを接続します。

②アクースティマス・ベースボックスの"INPUT"とLS-4810の"ゾーン1(ZONE1)"を接続します。

③アクースティマス・ベースボックスの"リモート(REMOTE)"端子とLS-4810の"シリアル・データー・アウトプット(SERIAL DATA OUTPUT)"端子を接続します。

※接続にはLS-4810に付属のRCA/リモート・ピンコードを使用してください。L・Rを間違えないよう注意してください。

④アクースティマス・ベースボックスの電源コードをAC100Vコンセントに差し込み、パワースイッチを"AUTO"ポジションにします。

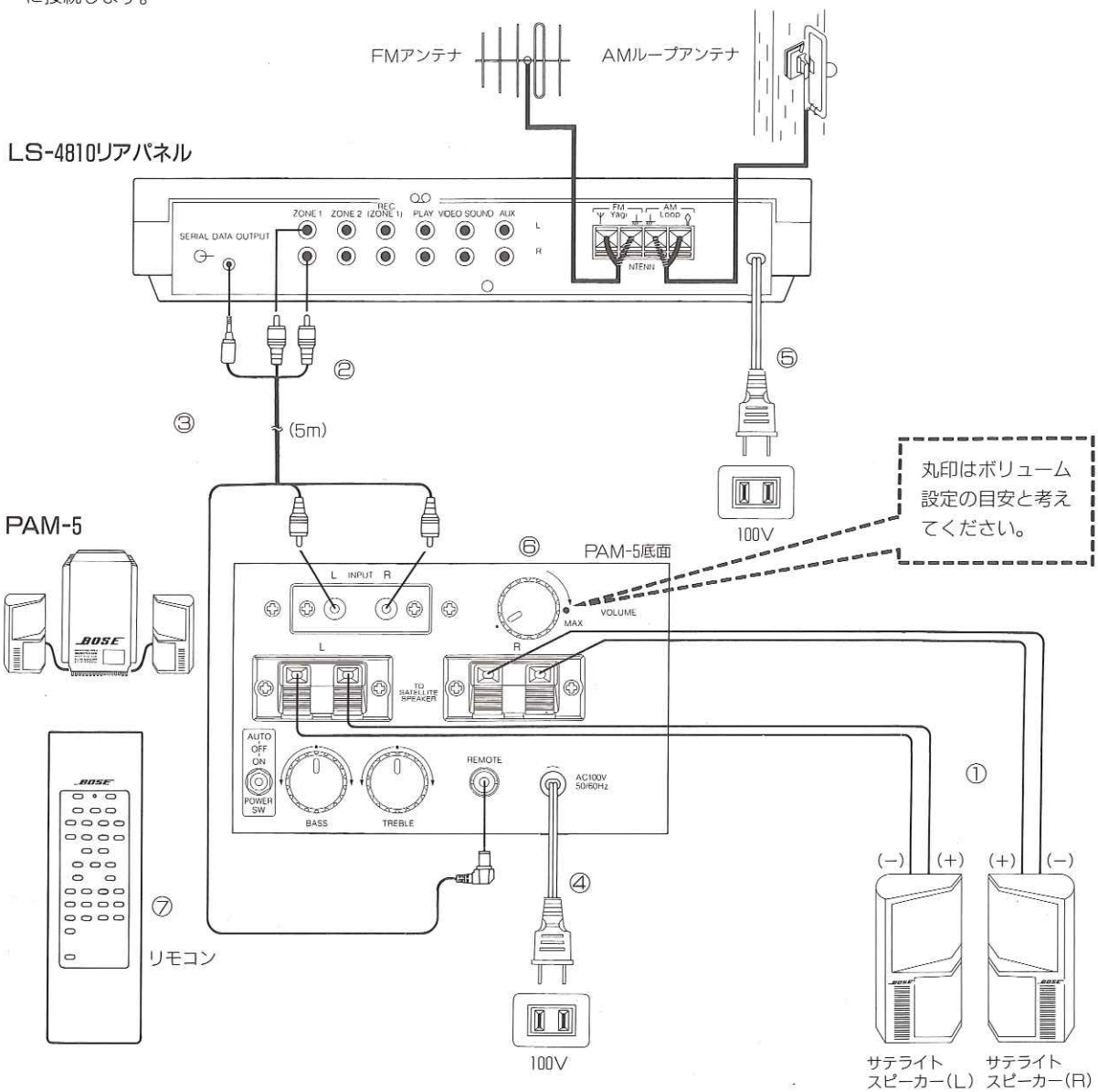
⑤LS-4810の電源コードをAC100Vコンセントに差し込みます。

⑥PAM-5のボリュームを上げ、丸印の位置(図参照)に合わせてください。セットした後の音量調節はLS-4810側で行います。

⑦リモコン(LS-4810付属)のCDなどのキーを押して電源を入れてください。PAM-5にも同時に電源が入ります。

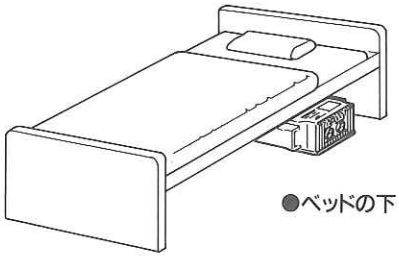
⑧あとはLS-4810の取扱説明書にしたがって操作してください。

◇「ILSOLE」のシステムアップ用にもう1セットPAM-5を接続する場合は上記と同じ要領でLS-4810の"ゾーン2(ZONE2)"に接続します。



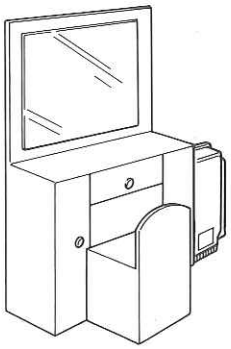
アクースティマス・ベースボックスのセッティング

アクースティマス・ベースボックスは原則として同一音場内であれば、どこに置いても方向感を感じさせないような設計になっています。ただし、部屋の構造上の問題で多少の方向感が生じる場合があります。そのときは、ポートの方向やベースボックス全体の位置を変えてベストなセッティングポイントを選んでください。

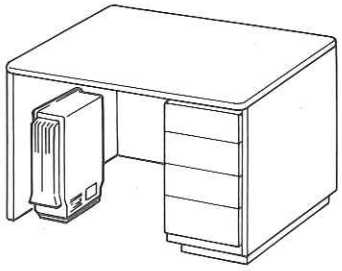


●ベッドの下

●家具の横



●机の下



アクースティマス・ベースボックス設置について

アクースティマス・ベースボックスは、縦置き(ポート部分を下に向けた状態)でも、横置き(横に向けた状態)にしても使用できます。図のような縦置きで使用する際、スピーカーコードやラインコード、電源コードはリアパネルの溝を利用してワイヤリングしてください。

アクースティマス・ベースボックスは、コーナーや壁際に設置することにより一層効果的な低音再生が可能です。サテライト・スピーカーとのバランスを調節しながら、ベストポジションを選定してください。

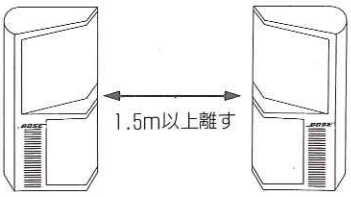
●低音が強すぎる場合
- ○壁やコーナーから離す
- ○台などを使って床から浮かせる
- ○縦横の置き方を変えてみる

●低音をさらに強調したい場合
- ○壁やコーナーに近づける
- ○縦横の置き方を変えてみる

●もっとしまった低音が欲しい場合
- ○厚い板やレンガのような硬い材質のものを下に敷く
- ○縦横の置き方を変えてみる

サテライト・スピーカーのセッティング

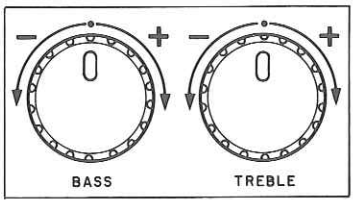
サテライト・スピーカーのLチャンネルとRチャンネルは、最低でも1.5m以上離してセットしてください。間隔があまり狭いとステレオ再生に支障が出ます。また、ステレオ・エブリウェア・テクノロジーは間接音を有効に用いるものなので、左右のスピーカーを入れ替えたり、向きが違っていたりという間違ったセッティングでは、正しい音像が得られません。この取扱説明書のイラストを参照して、L・Rが入れ換わらないよう、またユニットが正しくリスナーに向くように注意してください。



音の調節

■トーンコントロールについて

PAM-5には、低域調整用(BASS)と高域調整用(TREBLE)のトーンコントロール機能がついています。BASSはアクースティマス・ベースボックス、TREBLEはサテライト・スピーカーの音色を変化させるので、お好みの音に設定できます。なお、低域についてはベースボックスのセッティングでの音質調整を基本とし、トーンコントロールでの調整はあくまでも補正と考えてください。

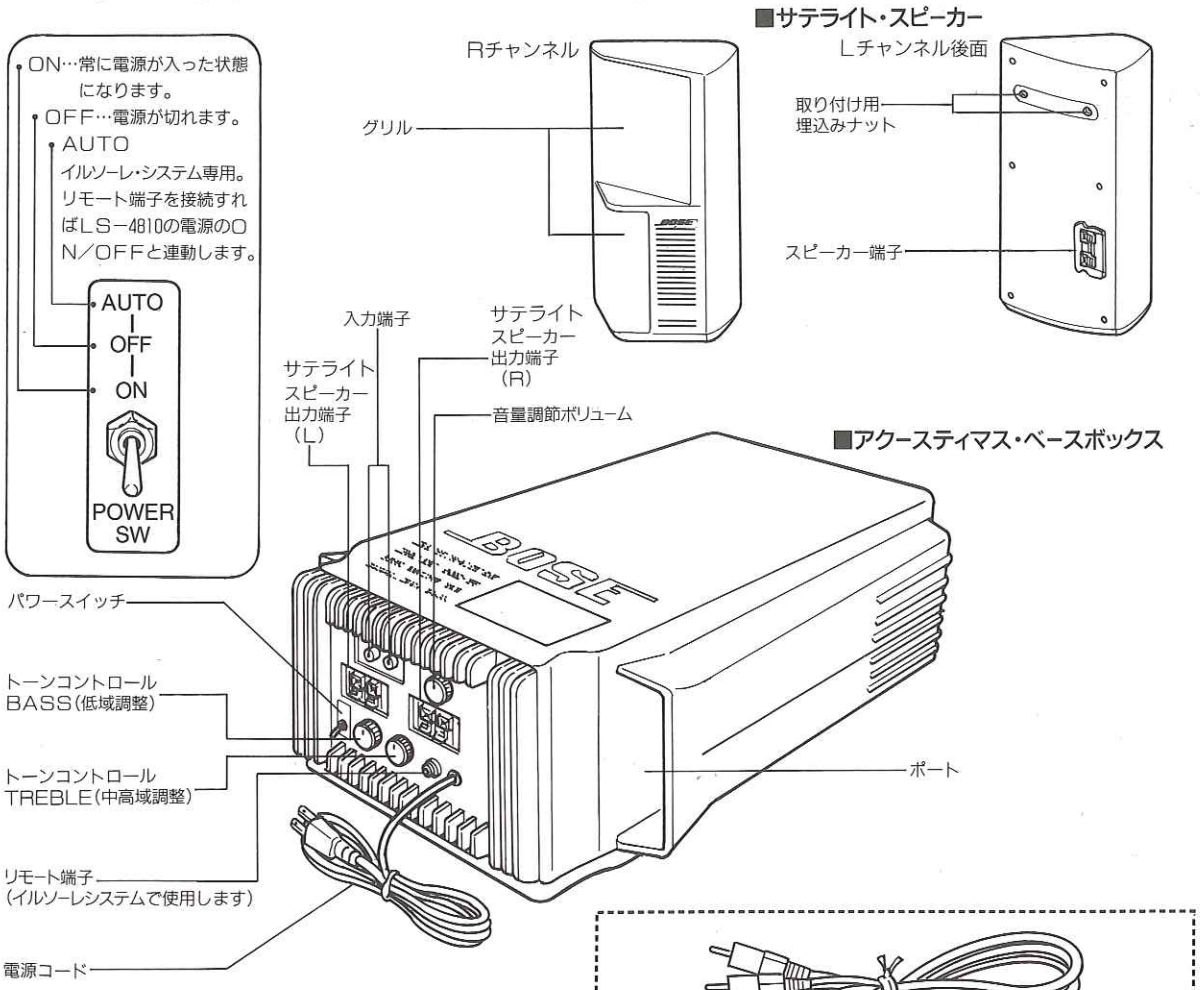


開梱上の注意

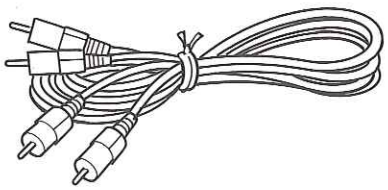
■もし、開梱時に損傷・不良箇所などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちに販売店に連絡してください。損傷している状態では絶対に使用しないでください。

■製品を取り出した後のカートンおよびパッキンは、後日の輸送などのために保管しておくことをお勧めします。

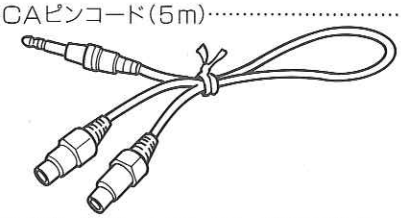
各部の名称



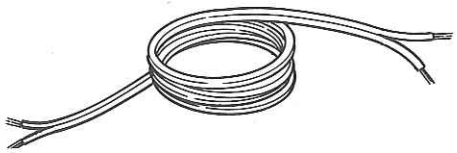
■付属品



●RCAピンコード(5m)……1本



●RCAピン(メス)↔ステレオミニ変換アダプター…1本



●スピーカーコード(5m)……2本

使用上の注意

■本体に付いた汚れやほこりは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの薬品、洗剤やガラスクリーナーは、キャビネットの表面をいためるので使用しないでください。
■長期間ご使用にならないときは、AC電源コードをコンセントから抜いておいてください。
■直射日光、湿気の多い所には置かないでください。
■裏ブタ取り付けネジは絶対に外さないでください。エアーもれなど不良の原因となります。もし取り外した場合は、保証期間中でも修理が有償となります。
■修理は弊社のサービスセンターにお任せください。

取付金具 サテライト・スピーカーには下記の取付金具が使用できます。

●GCW-300：天井吊り・壁掛け(アーム：30cm)
●GCW-3：壁掛け(アーム：11cm)
●GMA-3：パンスタンド
●GMK-4：マイクスタンドアダプター
●MK-4：マイクスタンド

仕　様

周波数特性	30Hz～20kHz
最大音圧レベル	100dB(SPL)/1m
入力レベル	100mV～10V(rms)
入力インピーダンス	50kΩ
電源電圧	100V、50/60Hz

●サテライト・スピーカー

ユニット	5.7cmドライバー×4
低磁束漏洩	キャンセリングマグネット方式
サイズ	209(W)×123(H)×90(D)mm
重量	1.1kg(片チャンネル)

●アクースティマス・ベースボックス

方式	アクースティマス
ユニット	16cmウーファー×2
低磁束漏洩	キャンセリングマグネット方式
周波数特性	30Hz～150Hz
サイズ	350(W)×540(H)×170(D)mm
重量	12.5kg

保　証

通常の使用において発生した故障に対しては、ご購入時よりスピーカー部5年、アンプ部1年の保証とさせていただきます。ただし、改造および誤った使用、不注意による故障・外観上の破損については、この限りではありません。

■BOSE BUDDY CLUB(BBC)へ入会ご希望の方は、申し込み用紙にご記入の上、年会費620円(62円切手10枚)を添えてお申し込みください。

●製品及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取り扱い以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

BOSE Better sound through research.
ボーズ株式会社
〒150 東京都渋谷区渋谷1-20-1 三進ビル ☎03-499-0179

'89・9・0.6K・A・1(I-M)